

第 62 回「黄色いワッペン」贈呈式：「黄色いワッペン」を着けた新小学一年生



左から、大浦 茂	一般財団法人東京都交通安全協会	理事長
入谷 誠	一般財団法人全日本交通安全協会	専務理事
加藤 勝彦	株式会社みずほ銀行	取締役頭取
石川 耕治	損害保険ジャパン株式会社	代表取締役社長
永島 英器	明治安田生命保険相互会社	取締役 代表執行役社長
隅野 俊亮	第一生命保険株式会社	代表取締役社長

●株式会社ポケモンとは

ポケモンのブランドマネジメントを目的として設立。現在では、原点となる「ゲーム」をはじめとして、「カードゲーム」「TV アニメや映画などの映像作品」「グッズ」「タイアッププロモーション」「イベント」「直営店舗であるポケモンセンター」などを展開し、それらすべてをプロデュースしております。

●「My First Pokémon プロジェクト」について

この企画は、株式会社ポケモン内の「My First Pokémon プロジェクト」が企画・運営しております。「My First Pokémon プロジェクト」は、お子さまとポケモンの接点をより多く創出することを目的として活動しています。
YouTube 公式チャンネル「ポケモン Kids TV」や教育医療機関向け無償イラスト提供サービス「ポケモンイラストラボ」などの企画・運営を担っています。

黄色いワッペン贈呈事業について

小学一年生に対する「黄色いワッペン」贈呈事業は、1965年に富士銀行(現：株式会社みずほフィナンシャルグループ)が、創業85周年を記念して「よい子に注意、よい子も注意」をスローガンに始めた交通安全事業です。

当時、交通事故死亡者数の水準が高く、交通戦争とまで言われ社会問題になっていました。そんな中、当時の社員が、幼い子どもたちを交通事故から守る手立てとして、目立つものを身につけてもらおうと考え「黄色いワッペン」贈呈事業が誕生しました。

当初は、「黄色い腕章」を贈呈していましたが、1974年より現在の「ワッペン」に形を変えました。事業開始翌年には、安田火災海上保険(現：損害保険ジャパン株式会社)、安田生命保険(現：明治安田生命保険相互会社)の2社が、また翌々年には安田信託銀行も加わりました。

2003年からは第一生命保険相互会社(現：第一生命保険株式会社)も加わり、2004年からは株式会社みずほフィナンシャルグループ、損害保険ジャパン株式会社、明治安田生命保険相互会社、第一生命保険株式会社の4社で本事業を実施しています。

2026年度(第62回)の全国の新小学一年生への「黄色いワッペン」贈呈枚数は、約97万枚になります。今年で62回目を迎える本事業では、「黄色いワッペン」の贈呈枚数累計が約7,383万枚にのぼります。

長年継続している事業のため、おかげさまで、親子三代に渡って着用しましたという声も聞かれるようになりました。

2023年には、「黄色いワッペン」贈呈事業を行う4社は、交通安全協力企業として、「第63回交通安全全国国民運動中央大会」にて、一般財団法人全日本交通安全協会より感謝状の贈呈を受けました。

「黄色いワッペン」には1968年より交通事故傷害保険がつけられており、このワッペンの交付を受けた新小学一年生が登下校の際に万一交通事故に遭い、死亡または後遺障害が残った場合、保険金が支払われます。当初は保険有効期間が3ヵ月、保険金額が最高3万円でしたが、1994年の第30回を機に保険有効期間を1年間、保険金額を最高50万円に延長・増額しました。

2026年度の新小学一年生の保険有効期間は、2026年4月1日以降、新小学一年生として年度が始まる日の午前0時から、新小学一年生としての年度が終わる日の午後12時までの1年間となります。

「黄色いワッペン」には毎年、交通安全年間スローガン※こども部門の優秀作品が刷り込まれています。2026年度の新小学一年生は、全日本交通安全協会会長賞「おまじない 自分を守る みぎひだり」と記されたワッペンをつけて通学します。

「黄色いワッペン」を身につけることで、学校に通う子どもたちに交通安全を呼びかけ、保護者やドライバーの方々の注意を喚起し、少しでも子どもたちの交通事故防止に役立てていただきたいと願っています。

※(一財)全日本交通安全協会と毎日新聞社が共催で募集しているものです。

以上